

こどものしゅうへん

2026年1月

●草津市立図書館の行事／電話 071-565-1818

●新春図書館福袋

司書おすすめの貸出セットです。どんな本が入っているかはおたのしみ♪

1月5日(月)・7日(水)

10時00分～なくなり次第終了

各日数量限定 先着順

●木曜おはなしのじかん (赤ちゃん向け)

てあそびやえほんをよむよ！

キッズデー

1月 8日(木)

11時00分～11時30分

2階 会議室

●図書館DAY

おはなし会やおはなしのじかんなど楽しいイベントがあるよ！

1月 17日(土)

おはなしのじかん

11時00分～11時30分

えほんコーナー

おはなし会

14時30分～15時15分

2階 会議室

○南草津図書館の行事／電話 071-567-0373

○新春図書館福袋

司書おすすめの貸出セットです。どんな本が入っているかはおたのしみ♪

1月6日(火)・7日(水)

10時00分～なくなり次第終了

各日数量限定 先着順

○おはなし会 (幼児～小学校中学年向け)

おはなしや大型えほんをよむよ！

1月 10日(土)

11時00分～11時45分

市民交流プラザ音楽室

○木曜おはなしのじかん (赤ちゃん向け)

てあそびやえほんをよむよ！

キッズデー

1月 22日(木)

11時00分～11時30分

えほんコーナー

○おはなしのじかん (幼児向け)

えほんやかみしばいをよむよ！

1月 24日(土)

14時30分～15時00分

えほんコーナー

図書館のイベントの日程は、

こちらからでもご覧いただけます。

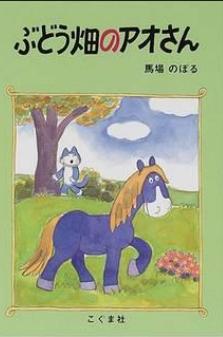
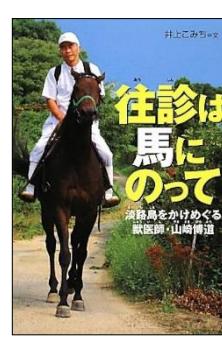
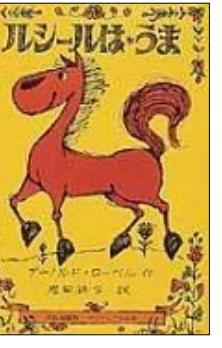


図書館ホームページ

行事について

会議室・音楽室で開催の行事は、
当日開演15分前から入場していただけます。



<p>『ぶどう畑のアオさん』 (こぐま社)</p> <p>馬場 のぼる／文・絵</p> <p>Eコ</p> <p>ある日、ぶどう畠のゆめをみたアオさんは、ゆめのとおりに森をぬけていくと、ネコさんにあいました。いっしょにおかにいくと、ほんとうにぶどう畠がありました。「ないじょにしよう」とネコさんはいいますが、「みんなでたべたほうがずっとおいしいよ」とアオさんはいい、こんどはみんなでいきました。</p> 	<p>『しまうまのたんけん』 (PHP研究所)</p> <p>トビイ ルツ／作・絵</p> <p>913.6ト</p> <p>さばくのおしろの王さまが、見つけるとしあわせになれるという「まぼろしのどうぶつ」をさがしていました。どんなどうぶつかわらない王さまは、しまうまにめずらしいどうぶつを見つけたら、おしろまでつれてきてほしいとたのみました。たんけんいでたしまうまは、見つけることができるのでしょうか。</p> 	<p>『こうまくん』 (大日本図書)</p> <p>きくち ちき／作</p> <p>Eタ</p> <p>こうまくんがはしっています。てんとうむしさんやうさぎさんが「どこいくの?」ってきいても、こうまくんはとまらずに「ぼく、はしってるの」って。おがわさんやほかのうますさんが「あそば、あそば」っていっても、「またね」って。こんなでもおきあがって、たのしそうにはしっています。</p> 	<p>『往診は馬にのって』 (校成出版社)</p> <p>井上 こみち／文</p> <p>649</p> <p>兵庫県・淡路島の家畜医院で獣医師をしている山崎博道さんは、馬に乗って牛の病気やお産の往診にいきます。馬に乗る先生の姿は島内に知れわれたり、家畜以外の動物の相談が持ちこまれ、診療室はいつも生き物だけです。馬を見た子供たちが乗ってみたいと言ったので、乗馬体験もはじめました。</p> 
<p>『モンゴル大草原風の馬』 (KADOKAWA)</p> <p>メアリー・ポープ・オズボーン／著</p> <p>番 由美子／訳</p> <p>933.7オ</p> <p>ジャックとアニーは、魔法のツリーハウスで時空をこえてモンゴルの大草原へ行き、エコ・ボランティアをすることに。一度絶滅した地球最後の野生馬「タヒ」の子孫をふたたび野生に返す活動をおこなっているとき、3頭が特別保護区から逃げ出しつつ、無事に戻ってくるだろうか。</p> 	<h1>2026ねん ことしのえとは うま</h1> 	<p>『ウマの絵本』 (農山漁村文化協会)</p> <p>こんどう せいじ／ hen もり まさゆき／え</p> <p>645</p> <p>ウマをみたことはあるかな? ウマは草食動物で、肉食獣から身を守るために「走る」ことを追求したため、中指が発達して蹄に進化し、沼地でも岩山でもどこでも走れるようになった。ウマは人を乗せて時速70キロで走ることができるし、荷物を200キロ乗せて運ぶことができるよ。</p> 	<p>『しまうまのしゃっくり』 (徳間書店)</p> <p>デーヴィッド・マッキー／作</p> <p>矢川 澄子／訳</p> <p>Eト</p> <p>しゃっくりがとまらなくなつてしまうまのゼブくんは「そのうちとまるさ」と、さんぽにでかけた。であったどうぶつたちがいろんなおしかたをおしえてくれるけど、ゼブくんはくだらないとあいてにしなかつた。そのうち、しゃっくりのせいで、からだのしましまがうごきはじめた!</p> 
<p>『うまかたやまんば』 (福音館書店)</p> <p>おざわ としお／再話</p> <p>赤羽 未吉／画</p> <p>Eフ</p> <p>むかし、ひとりのうまかたがいました。さかなをしいれ、うまいのせ、やまみちをのぼっていくとひがくれてしまいました。そこへ やまんばがあらわれ「さかなをおいていかなきや、おまえをとってくうぞ」とおいかけてきました。うまかたはさかなをおいて、うまにとびのりました。</p> 	<p>『北の馬と南の馬』 (あかね書房)</p> <p>前川 貢行／写真・文</p> <p>489</p> <p>宮崎県にいる御崎馬は日本古来の血をつないでいる在来馬で、馬では唯一の国の天然記念物だ。青森県にいる寒立馬は在来馬を祖としながら外来馬の血を交えて進化してきた馬。どちらの馬も絶滅しかけたことがあり、人間の手厚い保護がなければ絶えてしまう貴重な生きものだ。</p> 	<p>『ルシールはうま』 (文化出版局)</p> <p>アーノルド・ローベル／作</p> <p>岸田 紗子／訳</p> <p>Eフ</p> <p>はたらきもののうまのルシールはどうだらけ。みずたまりにうつるじぶんをみてぱっとしないとかなしくなった。あるひ、まちでふくやぼうしをかってもらいたくてきなきふじんになった。しごとをしなくなつて、へやのなかでおくさんとおちゃかいをしていたけど、なんだかきゅうくつになつてきた。</p> 	<p>『馬と明日へ』 (ポプラ社)</p> <p>すぎもと りえ／作</p> <p>結布／絵</p> <p>913.6ス</p> <p>馬が大好きな悠斗は、地域の乗馬クラブ「いい木ファーム」に通っている。ジュニア競技会へ出場するため、仲間と練習にはげむのが楽しい。でも、同じ小学校に転校してきたというひとがくねんしたひなたにゅうかい一学年下の日向は、入会したけれど、乗馬をせずに、引き馬やかたづけ、厩舎の掃除などをもくもくとやっている。</p> 

えほん

あたらしくはいった子どものほん



こくとうぴょ～

加藤 休ミ

あかね書房

まほうのるんるんきせつごはん

まいのおやつ

KADOKAWA

ねこピクニック

かのう かりん

教育画劇

リブリアのパンづくり

おおで ゆかこ

講談社

ティーとカメレオン

鹿島 孝一郎

実業之日本社

もぐらぱーる

中山 信一

小学館

ふじさんになにのせる？

きたがわ めぐみ

鈴木出版

グランド・フィーリング・ホテル

リディア・ブランコヴィッチ

東京書籍

ゆたんぽさんです。

とよた かずひこ

童心社

ぱ・ぴ・ぶ・パンタくん

柴田 ケイコ

白泉社

よるのまちはピカピカチカチカ

鎌田 歩

PHP 研究所

ともだちは102さい

菅野 由貴子

文研出版

きてる

鈴木 のりたけ

ポプラ社



(えほんは出版社の順に並んでいます)

よみもの

おばけのリープル

おおぎやはなぎ ちか 913.6 オ

リンゴちゃんのおしごと

角野 栄子 913.6 カ

カタミミの森

小森 香折 913.6 コ

みんなの居場所

白矢 三恵 913.6 シ

ポジション！

高田 由紀子 913.6 タ

放課後ミステリクラブ 8

知念 実希人 913.6 チ

いたいのいたいのつかまえて



千葉 智江 913.6 チ

読書会を魔女といっしょにやってみたら

濱野 京子 913.6 ハ

西遊記 17

斎藤 洋 923.5 サ

運命の時計

ウォルター・デ・ラ・メア 933.7 デ

チュウチュウ冒険団 3

フィリップ・リーヴ 933.7 リ

ミシュカ

エドワルト・ファン・デ・フェンデルほか 949.33 フ



そのほかのほん

「わたし」ってなんだろう？ 1

361.4



ぜつめつしたいきもの

457.8

おいしいお米をつくりたい！

谷本 雄治 616.2

生きものとくらそう！ 7

645.9

ようこそ講談の世界へ

小泉 博明ほか 779.12



よみたいほんがかしだしちゅうのときはよやくしてね！

